



冬の火災は『ゼロ距離』と『ほったらかし』に注意！ ～電気暖房器具は使う前に点検も！～

1. 事故の発生状況

2017年度年から2021年度の間NITEに通知のあった製品事故情報※1のうち、九州・沖縄8県で電気暖房器具の事故は、合計27件※2ありました。

(1) 県別および年度別事故発生件数 (表1)

表1 電気暖房器具による事故の県別および年度別事故発生件数 (2017年度～2021年度) (単位: 件)

発生年度	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計
2017年度	2 (2)	0	5 (4)	0	0	1 (1)	1 (1)	1 (1)	10 (9)
2018年度	2 (2)	0	1 (0)	0	0	1 (1)	0	0	4 (3)
2019年度	1 (1)	0	1 (1)	0	0	1 (1)	0	0	3 (3)
2020年度	3 (1)	0	0	0	1 (1)	0	0	1 (1)	5 (3)
2021年度	2 (1)	0	2 (2)	1 (1)	0	0	0	0	5 (4)
合計 (内火災件数)	10 (7)	0	9 (7)	1 (1)	1 (1)	3 (3)	1 (1)	2 (2)	27 (22)

※1:消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報(被害なし)を含みます。

※2:重複、対象外情報を除いた事故発生件数です。

(2) 県別および被害状況別事故発生件数 (表2)

表2 電気暖房器具による事故の県別および被害状況別事故発生件数 (2017年度～2021年度) (単位: 件) ※3

被害状況		福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計
人的被害	死亡	0	0	4	0	0	0	0	0	4
	重傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	軽傷	3	0	0	0	0	0	0	0	3
物的被害	拡大被害	3	0	3	1	0	2	1	2	12
	製品破損	4	0	2	0	1	1	0	0	8
合計		10	0	9	1	1	3	1	2	27

※3:表2において人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしません。製品本体のみの被害(製品破損)に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としています。

(3) 県別および製品別事故発生件数 (表 3)

表 3 電気暖房器具による県別および製品別事故発生件数 (2017 年度～2021 年度) (単位: 件)

製品名	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計
電気こたつ	0	0	2	0	0	0	0	0	2
電気こたつ			2						2
電気ストーブ	6	0	6	0	0	3	1	2	18
電気ストーブ	2		4				1	1	8
カーボンヒーター	1		2			3		1	7
オイルヒーター	2								2
遠赤外線式	1								1
電気ファンヒーター	3	0	1	1	0	0	0	0	5
セラミックヒーター	1		1	1					3
電気ファンヒーター	2								2
電気温風機	1	0	0	0	1	0	0	0	2
電気温風機	1								1
セラミックファンヒーター					1				1
合計	10	0	9	1	1	3	1	2	27

2. 電気暖房器具による事故事例

(1) 2019 年 12 月 (宮崎県、60 歳代・男性、拡大被害)

【事故の内容】

電気ストーブを使用中、製品及び周辺を焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

強弱切替え用に使用されているダイオードが不良品であったことにより、ダイオードが異常発熱し、出火したものと考えられる。

(2) 2022 年 3 月 (福岡県、年齢不明、女性、製品破損)

【事故の内容】

ネット通販で購入した電気ファンヒーターを使用中、ファンヒーターから異音がして火が出て、焼損した。

【事故の原因】

製造工程において、底面の電源コード取り回しに不具合があったため、電源コードに首振り時の応力が繰り返し加わり、芯線が断線して焼損したものと推定される。

3. 事故の実験映像について

事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構」+「NITEのロゴ」としてください。

(本件に関するお問い合わせ先)

〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原 2-1-28
独立行政法人製品評価技術基盤機構
九州支所 担当者 篠崎

電話:092-551-1315 FAX:092-551-1329